

研究紀要第24号

ひとりひとりを生かす保育

——子どもの気持や動きに応ずる働きかけ——

1 9 8 8

島根大学教育学部附属幼稚園

は じ め に

初夏の風薫る若葉の季節になりました。この季節感は、水に和み、砂や土に親しむ子ども達の生活々動を一層活気づけているように思います。入園当初、どこでもあり勝ちな園児達の保護者との分離不安や新しい生活状況への適応困難の課題を次第に克服しながら、本園でも園全体に漸くある種の落ち着きを感じられるようになりました。

さて今回は、「ひとりひとりを生かす保育」を研究主題とする第16年次の研究会であります。昭和47年に研究の起源をもつこの主題は、それを構成する実践の諸要素について、その都度、慎重かつ厳密な検討を重ねながら課題全体の構造化を図り、今日に到っております。したがって研究の経緯について申しますと、この間、研究担当者の移動に伴う交替や、子ども達の生活をめぐる時代・社会状況の漸進的な変貌など、保育の実践研究に係る基礎的条件の変化が見られましたが、それまでの先行研究の成果について、その現実的な意味を絶えず問い直しながら、それに続く研究のステップを構築し、子ども達の活動と課題の具体化に取り組んで参りました。

また、資料に示すように、本研究（第16年次）を含めての労作は、すべて此れら先行研究の成果を踏まえて新たな展望を開き、発展的に保育の内容や方法の組織化を目指したものであると考えます。このように、子どもの生活や遊びの実態に即しながら導かれた論理の確かさを、繰り返えし保育実践を通して検討することによって、全体としてひとつの保育実践研究の体系化が順次に育ち、形成されてきているように思われます。保育活動の基底は、「子どもと保育者の間の保育関係」にあるとすれば、同時に必然化されるのが保育者自身による「指導性」の問題であり、その具体化のためのいくつかの作業仮設でありましょう。そして、今回、保育者の「子どもの気持ちや動きに応ずる働きかけ」という課題の枠組みが、例えば子どもの「自立的にのびのびした活動」という保育目標に対して具体的にどう結びつき、どのように関連していくのかは最も興味ある問題であるといえます。また、「ひとりひとりを生かす」とは、個人と集団が「生き」、「生かす」ことにおいて相互に矛盾しないばかりか、同時にその全てが生きることを含むのであるから、正に保育における究極、普遍の命題であるとともに、保育そのものの本質を志向する王道を示唆するものであると言へます。

したがって保育実践の課題として上に掲げたサブ・テーマは、保育活動の実際を通して、その理念・本質に接近するチャンネルと解することが出来るでありましょう。

この一年、ささやかながら鋭意研修に取り組み、またひとつ年輪を加えました。

御参会の皆様方の卒直なご批判、ご指導を心からお願い申し上げる次第です。

島根大学教育学部附属幼稚園長

福 井 一 明

目 次

はじめに

福井 一明

総論

子どもの気持や動きに応ずる働きかけ

文責 野津 道代

I 研究主題について	1
1 主題探究の経過	1
II 研究の方法と視点	3
III 副主題「子どもの気持や動きに応ずる働きかけ」の設定と追求の過程	3
IV 第16年次（62年度）の保育実践からとらえたこと	5
1 「自分でみつけた遊び」の中での経験や活動の姿	5
(1) 経験や活動のつながり	6
(2) 複合的な遊びのイメージ	9
(3) 子どもの意識によってつくられていく遊びの流れ	10
(4) 「寄り道」的な遊びの意味	11
(5) 「総合的な経験や活動」としての遊びの姿	13
(6) 環境（自然・場所・保育者・友だち）との相互作用によって生み出される 経験や活動	14
事例1 「冬さんこんにちはパーティー」－5歳児・14期－	
事例2 「風と遊ぶ」活動－4歳児・9期－	
2 「自分でみつけた遊び」と「課題活動」のつながり	16
(1) ひとりひとりの気づきや願いに応ずる「課題活動」の設定	17
(2) 子どもの興味関心の表わし方と課題活動とのつながり	19
(3) 「自分でみつけた遊び」→「課題活動」→「自分でみつけた遊び」のサイクル で深めていく経験や活動	20
3 子どもがつくっていく活動の流れに応ずる保育の組み立て	21
(1) 動いていく「活動の構想」	
(2) 「一日の活動」の流れや動きに即した課題提示場面	
(3) 主体的な動きを大切に活動の展開の予想	
4 子どもの主体性を大切にする保育者の働きかけ	22
V 今後の研究の課題	22

各論

1 子どもの気持や動きに応ずる保育の組み立て	野津 道代	24
2 子どもの自立感や自主性を大切にする保育者の働きかけ	今井 由起	71
3 自然さを大切に活動の展開の予想	星野 和美	93
4 ひとりひとりのイメージにそった遊びの支え方	小林 保恵	109
5 その子らしい姿を出させる指導	森山 純子	129

— 研 究 同 人 —

園 長	福	井	一	明
副 園 長	安	田	尚	弘
研修部長	野	津	道	代
教 官	森	山	純	子
”	星	野	和	美
”	小	林	保	惠
”	今	井	由	起
講 師	光	石	江	里
”	德	永	直	美
前副園長	柘	植	克	彦